事業報告書

報告日付:2024年4月15日

事業ID: 2023003877

　　　　　　　　　　　　　　　事業名：【東京都渋谷区における「子ども第三の居場所」

(A)コミュニティモデルの運営（3年目）】

団体名:一般社団法人渋谷未来デザイン

　事業完了日:2024年3月31日

1.事業内容 東京都渋谷区における「子ども第三の居場所」(A）コミュニティモデルの運営

（1）期間：2023年4月～2024年3月（週3日、15時から18時まで)

（2）場所：東京都渋谷区

（3）対象：30名（家庭や自身に課題を抱えた小学校低学年中心）

（4）内容：子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援することで社会的相続を補完する。宿題のサポートに加えて、様々なデジタルツールを活用したクリエイティブプログラム、SDGs視点、地域ボランティアによる複数のプログラムやスポーツなど多様なプログラムにより、未来への関心や共感性、生き抜く力を高めていく。

2.事業内容詳細

　15時～18時の時間帯で週3日（火・水・木）、全130日開所した。

1日3時間のうち、1時間を「好奇心の時間」とし、協力企業や団体による様々なプログラムを実施した。タブレット端末によるAIを活用したクリエイティブ体験、地域団体による四季おりおりの音楽体験、様々なスポーツ体験、キッズ環境講座及び企業協賛プログラムなど、全21種類のプログラムによる130時間の体験学習を提供した。

3.契約時事業目標の達成状況

【助成契約書記載の目標】

・2024年3月31日までに一日平均利用児童数を15名にする

・課題を抱える児童の登録に関する行政との関係構築を行う

・ボランティア等の地域住民や会員企業と共に支援プログラムを実施する（年間6団体）

・多世代交流機会の提供をする（2回程度）

・開所している他の子ども第三の居場所拠点において連携イベントを実施する(1回程度）

【目標の達成状況】

・登録児童の多くは、習い事などにより参加できる曜日が特定されており、平均参加児童数は10名であったが、登録児童以外の自由参加が多い日は30名近い参加者となった。

　・課題を抱える児童の登録に関しては行政との関係構築の調整が難しかった。

　・ボランティア等の住民団体5団体、会員企業4団体、その他協力企業2団体、大学1団体及びFDS事業連携プログラムなど、昨年度以上に多様なプログラムを実施した。

　・第三の居場所のプログラム(誤嚥性肺炎予防の体操)に地域交流センターに通所している高齢者に参加していただき、子どもたちと一緒にプログラムを体験した。（1回）

　・他の拠点との連携は実施できなったが、PTAと連携し、地域の学校のイベントでプログラムを実施した。（1回）